

アナログプレイヤーの比較試聴(22)

—モーツアルトを聴く(22)—

1. 始めに

前報(21)に引き続き、アナログプレイヤー3機種 of 比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種 of 試聴経路は、ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した前報(18)と同様です。

音源は、モーツアルト of アナログ盤を使用していきますが、今回はヴァイオリン協奏曲です。

DENON OX-7025-ND

モーツアルト ヴァイオリン協奏曲第1番変ロ長調

ヴァイオリン協奏曲第2番ニ長調

ジェラルド・ジャリ (Vn)

ジャン・フランソワ・ピヤール指揮ピヤール管弦楽団

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

ZANDEN Model120 経由の LINN LP-12 と ThorensTD124 では、Columbia、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorensTD124 の再生では、PCM 録音 of 音の固さは感じられず、多少肌理の粗さは残りますが、躍動的で艶のある音に感じられます。

LINN LP-12 の再生では、PCM 録音 of 音の固さは感じられず、端正で肌理の細かい音がしますが、反面、ThorensTD124 の躍動的な印象は薄れます。

Grrad401 の再生では、PCM 録音 of 音の固さは感じられず、多少肌理の粗さは残りますが、おおらかで快活な音の印象です。

4. まとめ

ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した結果も、3機種3様の再生パフォーマンスが確認できましたが、それぞれ躍動感や端正さやおおらかさなどの魅力を感じさせます。

以上